

令和7年3月25日

関係 各位

山梨県知的障害者支援協会
会長 栗原 信

(令和7年度) 強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】、【実践研修】の受講者募集について
(お知らせ)

このたび下記のとおり標記研修会を開催します。

受講を希望される場合は、別紙(様式1)「受講希望者名簿」及び(様式2)「受講者推薦書」に必要事項を記入のうえ、下記研修事務局までお申込みください。

記

1 開催条件

新型コロナウイルス等の感染拡大防止の観点に基づき、

- (1) いわゆる「3密を防ぐ」観点のうち、特に「密集」を防ぐ観点から、受講定員を30名以下に限定し、受講者同士の距離(パーソナルディスタンス)は充分離れて着席とします。
- (2) 山梨県知的障害者支援協会が定める「新型コロナウイルス感染防止対策」にご協力頂ける方。
- (3) 受講中はマスク(不織布)を着用。研修会場内での飲食は不可とします。(水分補給のみ可)
- (4) 新型コロナウイルス等の感染拡大状況によっては日程の変更(延期)もしくは研修会場を変更してリモート(zoomを使用)となるか、あるいは中止となる場合があります。

2 受講対象者

- (1) 障害児(者)支援(もしくは同等)の実務経験が1年以上ある方。
(※受講対象者について実務経験が1年以上ある方に限定した理由については、別紙参照)
- (2) 山梨県内に在住又は在勤で、障害福祉サービス・介護・医療に従事している(従事する予定がある)方。
- (3) 事業所として重度障害者支援加算の受給要件を満たす為に、事業所管理者から特段の推薦がある方。
(令和6年度報酬改定により「重度障害者支援加算」の需給要件が従来のものより変更となっておりますのでご注意ください。)

3 その他

- (1) 受講定員に限りがある為、ご希望に添えない場合があります。
- (2) 令和3年度より、研修内容及び研修テキストが大幅に改訂となった為、令和2年度までの同研修会で使用していたテキストとは異なりますのでご注意ください。
- (3) 旧カリキュラム(令和3年度以前)により受講された方及び現行カリキュラムにより修了した方であって復習のために再受講(聴講)を希望する方は、別紙様式3にて「再受講(聴講)」を受付けます。ただし会場の収容規模の関係上、「再受講(聴講)」定員は7名までとします(先着順受付)。なお「再受講(聴講)」の方には「修了証」は発行されません。
- (4) 参考までに、今年度の研修開催予定日を添付します。

4 日 時

(令和7年度・第1回)

| 基礎研修 | 実践研修 |
|-------------------------------|------|
| R7年4月22日(火)・4月23日(水) (2日間) | |

(令和7年度・第2回)

| 基礎研修 | 実践研修 |
|-------------------------------|-------------------------------|
| R7年5月13日(火)・5月14日(水) (2日間) | R7年5月28日(水)・5月29日(木) (2日間) |

(令和7年度・第3回)

| 基礎研修 | 実践研修 |
|-------------------------------|-------------------------------|
| R7年6月10日(火)・6月11日(水) (2日間) | R7年6月18日(水)・6月20日(金) (2日間) |

※(時間) 9:15～17:30 (各回共通)

※「実践研修」の受講対象者は、「基礎研修」修了者を対象としています。

5 場 所 山梨県立青少年センター(別館2階) 多目的ホール (甲府市川田町517)

6 受講定員 各回30名 (「再受講(聴講)」定員 各回7名)

7 申込受付期間 令和7年3月25日(火)～令和7年4月21日(月)

※ 受講希望者が定員を大幅に超える場合は、受付期間内であっても受付を締切ることがあります。

8 受講申込書 別紙(様式1)「受講希望者名簿」及び(様式2)「受講者推薦書」

※上記2通を添えて、ファクシミリ又は郵送にて研修事務局まで送付願います。

(「再受講(聴講)」申込書 別紙(様式3)「再受講(聴講)受講希望者名簿」)
申込書を受取後、研修事務局より折り返し「受講申込確認通知」をお送りします。
申込書送付後、3営業日を過ぎても返信がない場合はお手数でも研修事務局までご連絡願います。

※受講定員に限りがある為、受講希望者が定員を超えた場合はご希望に添えない場合があります。

- 9 受講料 基礎研修 10,000 円、 実践研修 10,000 円 テキスト 3,200 円 (税込)
- ※ (再受講 (聴講) の受講料は無料。ただしテキスト代は有料 3,200 円 (税込) 。)
- (「行動障害のある人の「暮らし」を支える」(2020 年 11 月 20 日発行版) (全国地域生活支援ネットワーク編) を (基礎研修・実践研修) 共通テキストとして使用します。)
- ※ 令和 3 年度より、研修カリキュラム及び研修テキストが大幅に改定された為、新カリキュラム及び新テキストで研修を実施します。(令和 2 年度まで使用していたテキストとは異なりますのでご注意ください。)
- ※ 受講料及びテキスト代のお支払い方法は、「受講決定通知書」にてご案内いたします。
- 10 受講者の決定 令和 7 年 4 月 21 日 (月) までに受講者を決定し、文書にてお知らせします。
- (受講者の決定にあたっては、受講理由及び推薦理由等を勘案のうえ受講者を決定します。)
- (再受講 (聴講) については、先着順とします。)
- 11 令和 7 年度 (第 4 回)、(第 5 回) の受講者募集につきましては、令和 7 年 10 月上旬を目途に受付を開始します。

12 申込み、問合せ

山梨県強度行動障害支援者養成研修事業 指定事業者
山梨県知的障害者支援協会
研修事務局 (担当 佐野)

☎ 0553-34-9200 (平日 9 時 30 分～17 時 30 分)

FAX 0553-34-9201

〒405-0005 山梨市小原東 1309-1

サポートセンターハロハロ一番館 内

(様式1) (令和7年度) 第1回・2回・3回 強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)・(実践研修) 受講希望者名簿

| 氏名 | 生年月日 | 務経 経歴 | 法人名 | ※ 職名 | 事業所名 | ※ 事業所 区分 | 所在地 | 電話 FAX | テキスト 購入の希望 |
|----------------|----------------|----------|---------------|---------|--------------|----------------|--------------------------|------------------------------|---------------|
| (フリガナ) 山梨太郎 | 平成〇年 〇月〇日 | 2年 6月 | 社会福祉法人 〇〇会 | 2 | 支援センター 〇〇 | 2 | 〒400-1111 山梨市〇〇町1-2-3 | 0553-XX-XXXX 0553-XX-XXXX | テキスト 購入の希望 |
| | 昭和・平成 年 月 日 | 年 月 | | | | | 〒 | | 希望する 希望しない |

※ **職名** 1 管理者(サービス管理(児童発達支援管理あ)責任者)、 2 生活支援員(支援員等)、 3 保育士(児童指導員等)、
4 訪問介護員、 5 相談支援専門員(介護支援専門員)、 6 その他

※ **事業所区分** 1 入所支援施設、 2 生活介護、 3 共同生活援助、 4 児童発達支援(放課後等デイ)、 5 相談支援、
6 居宅介護(訪問介護) 7 就労継続(就労移行)、 8 その他

※ 受講希望者名簿の情報を基に修了証書を作成しますので、氏名、生年月日等お間違いのないようにご記入ください。

【受講希望コース】

※ 希望するコース(基礎研修・実践研修)に○、×を記入してください。 ※ (第1希望～第3希望までの希望順位をご記入ください。)

| 第()希望 |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| ○ × | | | | |
| 基礎研修 | 基礎研修 | 実践研修 | 基礎研修 | 実践研修 |
| R7年4月22日(火)・ 4月23日(水)(2日間) | R7年5月13日(火)・ 5月14日(水)(2日間) | R7年5月28日(水)・ 5月29日(木)(2日間) | R7年6月10日(火)・ 6月11日(水)(2日間) | R7年6月18日(水)・ 6月20日(金)(2日間) |

※ 各コースの受講定員(30名)を超えた場合は、受付期間内であってもお申込みを締切る場合があります。

※ 第1希望のコースが定員を超えた場合は、第2(第3)希望のコースでのご案内となる場合があります。

(様式3)

(令和7年度) 第1回・2回・3回 強度行動障害支援者養成研修 (基礎研修・実践研修) **再受講 (聴講)** 希望者名簿

| 氏名 | 生年月日 | 法人名 | ※ 職名 | 事業所名 | ※ 事業所 区分 | 所在地 | 電話 FAX | テキスト 購入の希望 |
|----------------------|----------------|---------------|---------|----------------------|----------------|--------------------------|------------------------------|---------------|
| (フリガナ) 山梨太郎 | 平成〇年 〇月〇日 | 社会福祉法人 〇〇会 | 2 | 支援センター 〇〇 | 2 | 〒400-1111 山梨市〇〇町1-2-3 | 0553-XX-XXXX 0553-XX-XXXX | |
| | 昭和・平成 年 月 日 | | | | | 〒 | | 希望する 希望しない |
| 基礎研修 修了年月日 | 平成・令和 年 月 日 | 修了証番号 | 第 号 | 実践研修 修了年月日 | 平成・令和 年 月 日 | 修了証番号 | 第 号 | |

※ **職名** 1 管理者（サービス管理（児童発達支援管理あ）責任者）、 2 生活支援員（支援員等）、 3 保育士（児童指導員等）、
4 訪問介護員、 5 相談支援専門員（介護支援専門員）、 6 その他

※ **事業所区分** 1 入所支援施設、 2 生活介護、 3 共同生活援助、 4 児童発達支援（放課後等デイ）、 5 相談支援、
7 居宅介護（訪問介護） 7 就労継続（就労移行）、 8 その他

※ 聴講（再受講）の方には、修了証は発行されません。

【受講希望コース】

※ 希望するコース（基礎研修・実践研修）に ○、×を記入してください。 ※（第1希望～第3希望までの希望順位をご記入ください。）

| ○ × | 第（ ）希望 | 第（ ）希望 | 第（ ）希望 |
|-----|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 基礎研修 | 基礎研修 | 実践研修 |
| | R7年4月22日（火）・ 4月23日（水）（2日間） | R7年5月13日（火）・ 5月14日（水）（2日間） | R7年5月28日（水）・ 5月29日（木）（2日間） |

※ 各コースの受講定員（30名）を超えた場合は、受付期間内であってもお申込みを締切ることがあります。

※ 第1希望のコースが定員を超えた場合は、第2（第3）希望のコースでのご案内となる場合があります。

(別紙)

【受講対象者】

- 1 障害児（者）支援の実務経験が1年以上ある方。
(理由) 研修カリキュラム（講義および演習（グループワーク））について、実務経験が1年以上の方を想定した内容となっているため。
 - 2 山梨県内に在住・在勤で、障害福祉サービス・介護・医療に従事している（従事する予定がある）方。
 - 3 重度障害者支援加算の受給要件を満たす為、特に事業所管理者から推薦がある方。
(令和6年度報酬改定により「重度障害者支援加算」の需給要件が従来のものより変更となっておりますのでご注意ください。)
(参考) 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の概要（案）厚生労働省 より抜粋
「強度行動障害を有する障害者への支援体制について」（改定）
(例)（生活介護・施設入所支援）の場合
 - ・重度障害者支援加算（Ⅱ） 生活支援員のうち20%以上の基礎研修修了者を配置し、区分6かつ行動関連項目10点以上の者に対して、実践研修修了者が作成した支援計画シート等に基づき個別支援を行った場合（360単位/日）
 - ・重度障害者支援加算（Ⅲ） 生活支援員のうち20%以上の基礎研修修了者を配置し、区分4以上かつ行動関連項目10点以上の者に対して、実践研修修了者が作成した支援計画シート等に基づき個別支援を行った場合（180単位/日）
 - 4 山梨県知的障害者支援協会が定める、新型コロナウイルス等感染防止対策にご協力いただける方。
- ※ ファクシミリ（または郵送）受信後、「申込受信確認書」をお送りします。
受講希望者名簿を送信後、3営業日を過ぎても研修事務局から返信がない場合は、お手数でも研修事務局まで確認のご連絡をお願いいたします。
(土・日を除く)
- ※ 受講希望者が定員を大幅に超える場合は、受付期間内であっても受付を締切場合があります。
- ※ 上記【受講対象者】3 重度障害者支援加算の受給要件を満たす為、事業所において「生活支援員のうち20%以上の基礎研修修了者を配置」するために実務経験が1年未満の生活支援員を配置せざるを得ない場合（生活介護・施設入所支援の例）は、別紙（様式2）「受講推薦書」にてその旨の事情を明記してください。
その場合は、実務経験が1年未満であっても受講対象として認められる場合があります。

受講者推薦書

山梨県知的障害者支援協会

会長 栗原 信 様

(FAX 0553-34-9201)

〒405-0005

山梨市小原東1309-1

サポートセンターハロハロ一番館 内

法人名 :

事業所名 :

代表者職名 :

代表者氏名 :

次の者を、(令和7年度第1回・2回・3回)強度行動障害支援者養成研修の受講者として推薦します。

| | | |
|---------------------------------------|--|---|
| 受講希望者氏名 | (フリガナ) | |
| 過去の申込状況 (※該当するものに○) | <ul style="list-style-type: none"> あり \longrightarrow なし (今回の申込みが初めて) | 令和 年度 (第 回) を申込んだが受講できなかった。 |
| 障害者支援の実務経験 | 年 月 ※ (実務経験が1年以上の方を受講対象とします。) | |
| 「実践研修」をお申込の方 (「基礎研修」とセットで申込む場合を除く) | 「基礎研修」受講歴 | ※「実践研修」を受講する方は、「基礎研修」を修了していることが受講条件となります。 ・基礎研修・修了証番号 (第 号) ・基礎研修・修了年月日 (平成・令和 年 月 日) |
| 推薦理由 | (選考の判断材料とする為、具体的に記入してください) | |

- ※ ファクシミリ (または郵送) 受信後、「申込書受信確認書」をお送りします。
 申込後、3営業日を過ぎても返信がない場合はお手数でも研修事務局までご連絡願います。
 (土・日を除く)
- ※ 令和7年4月21日(月)までに受講者を決定し、文書にてお知らせします。
 (受講者の決定にあたっては、過去の受講状況及び推薦理由等を勘案のうえ受講者を決定します。)
- ※ 受講希望者が定員を大幅に超える場合は、申込受付期間内であっても受付を締切ることがあります。

強度行動障害支援者養成研修（R7年度）開催日程（予定）

【基礎研修】

- 第1回 令和7年 4月22日（火）・23日（水）
- 第2回 令和7年 5月13日（火）・14日（水）
- 第3回 令和7年 6月10日（火）・11日（水）
- 第4回 令和7年11月11日（火）・12日（水）
- 第5回 令和8年 2月25日（水）・26日（木）

※研修内容（プログラム）は、各回とも同一の内容です。

【実践研修】

- 第1回 開催予定なし
- 第2回 令和7年 5月28日（水）・29日（木）
- 第3回 令和7年 6月18日（水）・20日（金）
- 第4回 令和7年11月18日（火）・19日（水）
- 第5回 令和8年 3月 4日（水）・5日（木）

※研修内容（プログラム）は、各回とも同一の内容です。

【フォローアップ研修】（受講対象・実践研修を修了した方）

- 第1回 令和7年9月10日（水）
- 第2回 令和8年2月 4日（水）

※研修内容（プログラム）は、各回とも同一の内容です。

※受講定員 各回 30名

※再受講（聴講）定員 各回 7名

強度行動障害支援者養成研修 [基礎研修]

研修カリキュラム

| プログラムNo | 時間 | 科目 | | ストーリー | 講師/所属 | 資料 | |
|----------------|-------|--------------------------------------|-----|--|-------|---|--|
| 1日目 9:15~17:30 | | | | STEP | | | |
| 受付 | 9:15 | 検温・消毒 検温表の回収 | | | | | |
| 開会 | 9:30 | 山梨県知的障害者支援協会会長挨拶 事務局からの連絡事項 司会からの諸注意 | | | | | |
| プログラム0 | 9:40 | (10) | | 研修のねらい | 0 | 強度行動障害支援者養成研修のねらい 教科書：P2~11 | |
| | 9:50 | 30 | 講義1 | 強度行動障害の理解 ・支援の基本的考え方 ・強度行動障害の状態 ・行動障害が起きる理由 | 1 | 基礎 プログラム1 講義1「強度行動障害の理解」 教科書：P14~31 | |
| 休憩 | 10:20 | (10) | | | | | |
| | 10:30 | 60 | 講義2 | 強度行動障害の理解 ・障害特性の理解 | 2 | 基礎 プログラム2 講義2「強度行動障害の理解」 教科書：P40~55 | |
| 昼休憩 | 11:30 | (60) | | | | | |
| | 12:30 | 130 | 演習1 | 強度行動障害の理解 | | 基礎 プログラム3 演習1「強度行動障害の理解」 ワークシート⑩：グループ用 | |
| 休憩 | 13:30 | | | ・困っていることの体験 | | | |
| 休憩 | 13:40 | | | (10) | | | |
| | 14:50 | 90 | 講義3 | 支援のアイデア ・障害特性に基づいた支援 | 3 | 基礎 プログラム4 講義3「支援のアイデア」 教科書：P62~81 | |
| 休憩 | 16:20 | (10) | | | | | |
| | 16:30 | 60 | 講義4 | 研修の意義 ・行動障害と虐待防止 | 5 | 基礎 プログラム5 講義4「研修の意義」 教科書：P184~208 | |
| 2日目 9:00~17:40 | | | | STEP | | | |
| 受付 | 9:00 | 検温・消毒 検温表の回収 | | | | | |
| プログラム0 | 9:15 | (15) | | 初日の振り返り | 0 | 初日の資料利用 | |
| | 9:30 | 60 | 演習2 | 基本的な情報収集 ・行動を見る視点 | 3 | 基礎 プログラム6 演習2「基本的な情報収集」 差込資料① ワークシート① | |
| 休憩 | 10:30 | (10) | | | | | |
| | 10:40 | 90 | 演習3 | 特性の分析 ・特性の把握と適切な対応 | | 基礎 プログラム7 演習3「特性の分析」 差込資料②~⑤ ワークシート②~⑦ | |
| 昼休憩 | 12:10 | (60) | | | | | |
| | 13:10 | 60 | 講義5 | チームプレイの基本 ・チームプレイの必要性 | 4 | 基礎 プログラム8 講義5「チームプレイの基本」 教科書：P158~174 | |
| 休憩 | 14:10 | (10) | | | | | |
| | 14:20 | 70 | 演習4 | チームプレイの基本 ・支援手順書に基づく支援の体験 | | 基礎 プログラム9 演習4「チームプレイの基本-指導者研修用」 差込資料⑥ ワークシート⑧ | |
| 休憩 | 15:30 | (10) | | | | | |
| | 15:40 | 60 | 講義6 | 実践報告 ・児童期及び成人期における支援の実際 | 5 | ※配布資料なし | |
| 休憩 | 16:40 | (10) | | | | | |
| | 16:50 | 40 | 講義7 | 研修の意義 ・家族の気持ち | | ※配布資料なし | |
| 閉会 | 17:30 | (10) | | 到達度チェック 修了証授与 | | 到達度チェック表 修了証 | |

強度行動障害支援者養成研修「実践研修」

研修カリキュラム

| プログラムNo | 時間 | 科目 | | ストーリー | 講師/所属 | 資料 |
|----------------|-------|---------------------|---------------|---|-------|--|
| 1日目 9:15~17:30 | | | | STEP | | |
| 受付 | 9:15 | 検温・消毒 検温表の回収 | | | | |
| 開会 | 9:30 | 事務局からの連絡事項 司会からの諸注意 | | | | |
| プログラム0 | 9:40 | (10) | | 研修のねらい | 0 | 強度行動障害支援者養成研修のねらい 教科書：P2~11 |
| プログラム1 | 9:50 | 120 | 講義1 | 支援を組み立てるための基本 ・強度行動障害の支援に必要な知識 | 1 | 実践 プログラム1 講義1 「支援を組み立てるための基本」 |
| 昼休憩 | 11:50 | (60) | | | | |
| プログラム2 | 12:50 | 60 | 演習1 | アセスメントの方法 ・具体的なアセスメントの方法 | 2 | 実践 プログラム2 演習1 「アセスメントの方法」 実践 プログラム3 演習2 「アセスメントの方法」 ワークシート①~⑦ 差込資料①~⑦ 教科書：P326~329 |
| 休憩 | 13:50 | (10) | | | | |
| プログラム3 | 14:00 | 120 | 演習2 | アセスメントの方法 ・障害特性に基づくアセスメント | | |
| 休憩 | 16:00 | (10) | | | | |
| プログラム4 | 16:10 | 80 | 演習3 | 手順書の作成 ・アセスメントに基づく支援手順書の作成(1) | 3 | 実践 プログラム4・5 演習3・4 「手順書の作成」 実践 プログラム4 演習3 「手順書の作成」 差込資料⑧ ワークシート⑧⑨ 教科書：P330 ~331 |
| 2日目 9:00~17:30 | | | | STEP | | |
| 受付 | 9:00 | 検温・消毒 検温表の回収 | | | | |
| プログラム5 | 9:20 | 120 | 演習4 | 手順書の作成 ・アセスメントに基づく支援手順書の作成(2) | 3 | 実践 プログラム5 演習4 「手順書の作成」 差込資料⑧ ワークシート⑧⑨ 教科書：P330~331 |
| 休憩 | 11:20 | (10) | | | | |
| プログラム6 | 11:30 | 90 | 演習5 | 記録の分析と支援手順書の修正 ・記録の方法 ・記録の分析と支援手順書の修正 | 4 | 実践 プログラム6 演習5 「記録の分析と支援手順書の修正」 ワークシート⑩⑪ 教科書：P332~333 |
| 昼休憩 | 13:00 | (60) | | | | |
| プログラム7 | 14:00 | 60 | 演習6 | 関係機関との連携 ・関係機関（医療機関等）との連携の方法 | 5 | 実践 演習6 「関係機関との連携」 教科書：242~263 |
| 休憩 | 15:00 | (10) | | | | |
| プログラム8 | 15:10 | 60 | 講義2 | 組織的なアプローチ ・組織的なアプローチの重要性 | | 実践 プログラム7 講義2 「組織的なアプローチ」 教科書：P216~233 |
| 休憩 | 16:10 | (10) | | | | |
| プログラム9 | 16:20 | 60 | 講義3 | 実践報告 ・チームによる支援の実際 | | ※配布資料なし |
| 開会 | 17:20 | (10) | 到達度チェック 修了証授与 | | | 到達度チェック表 修了証 |